

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-1		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	企画課	文化デザイン課	
7 評価者	文化商工部		

8 施策の目標	<p>質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。</p> <p>新たに整備する文化施設を中心に既存の施設を多様な文化芸術活動の拠点として有効に活用するための取り組みを積極的に図り、区民が良質な文化芸術に接する機会を増加させます。</p> <p>大学やNPO、企業等と連携を図りながら地域における文化芸術活動を牽引、支援するとともに文化の創造・推進を担う人材を育成します。</p>						
9 施策の現状と課題	<p>○ 東アジア文化都市2019豊島の成功、芸術文化劇場・西口公園野外劇場の設置、イケバスの運行等で大きく文化発信しているため、「借りて住みたい街」ランキング1位が続くなど、「池袋」の評価が高まっている。この機運を逃すことなく、期待に応えられるような街づくりをすることが求められている。</p> <p>○ 豊島区には多くの文化関連施設・産業が集積しており、区民や来街者の文化芸術活動を誘引するとともに、地域の団体や企業、NPO等による特色のある文化芸術活動が様々な形で展開されている。多様な主体による活動をさらに充実させるためには、新たな文化の創出に向けた創造環境づくりが何よりも重要である。</p> <p>○ 伝統文化から最新の表現方法までジャンルを超えた文化の融合と発信が求められている。そのため、既存の文化資源を有効に活用し、文化に触れる機会を増やすとともに都市の魅力をいかにして高めていく必要がある。</p> <p>○ 幅広い文化芸術活動をより一層活発・充実化していくためには、文化を支え、発展させる人材の育成が、今後さらに必要となっている。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>東アジア文化都市2019豊島の成功を受け、新しい文化シンボルを制定する検討が進むなど、豊島区の文化芸術活動を次世代に継承する機運が高まっている。また、開催が延長となった2020オリンピック・パラリンピック開催に向けての文化プログラムを推進する必要がある。これらの活動に芸術文化劇場をはじめとする新規施設を有効に活用していくことが求められる。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	<p>○ 東アジア文化都市2019豊島のレガシーを引き継ぎ、オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを見据えながら各事業の展開を行っていく。</p> <p>○ 引き続き、舞台芸術、美術等の文化発信の拠点から区民が文化に親しめるよう鑑賞と交流の機会を提供する。</p> <p>○ 地域で展開されている主体的な文化・芸術活動を創造する活動を支援する。</p>						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	432,611	491,247	9,454,967	15,599,784	0	
	うち一般財源分(千円)	432,690	487,962	1,044,184	697,255	0	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	池袋演劇祭の入場者数【人】	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績値	28,040	31,980	34,992	30,560	—
		達成率	70.1%	80.0%	87.5%	76.4%	—
		達成状況	B: 相当程度達成	B: 相当程度達成	B: 相当程度達成	B: 相当程度達成	—
	指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由 若手の舞台関係者の発表及び成長の場であるとともに、区民が多様な文化に身近に接する機会ができることを示す指標であるため。				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	文化芸術創造支援事業における創造活動件数(にしがも創造舎におけるワークショップ参加者数)【件】	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値	1,229	948	0	0	—
		達成率	61.5%	47.4%	0.0%	0.0%	—
		達成状況	C: 未達成	C: 未達成	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成	—
	指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由 文化に触れる機会の増加と文化の担い手を育成する両面を備えた指標であるため。				
	指標(3)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
子ども向け演劇公演と関連イベント参加人数【人】	目標値	2,500	2,500	2,500	2,300	2,300	
	実績値	3,233	2,771	2,056	1,634	—	
	達成率	129.3%	110.8%	82.2%	71.0%	—	
	達成状況	A: 達成	A: 達成	B: 相当程度達成	B: 相当程度達成	—	
指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由 将来の文化の担い手である子ども達の文化に触れる機会の増加と文化の担い手を育成する両面を備えた指標であるため。					
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	51.3%	【達成状況分析】				
	C: 未達成	<p>○ 池袋演劇祭への参加者数は、若手の舞台関係者の発表及び成長の場であるとともに、区民が多様な文化に身近に接する機会ができることを示す指標である。30回目を迎えた地域密着型の演劇祭であるが、参加する劇団によって、会場(客席数)が変動することなどから、前年度より入場者数が減少した。</p> <p>○ にしがも創造舎における文化芸術創造支援事業における創造活動件数は、旧朝日中学校の仮校舎としての活用を受けて、現在は旧真和中学校での実施となっている。そのため、稽古場利用などが不可能となっている。</p> <p>○ 子ども向け演劇公演と関連イベント参加者数は、平成30年度で12年目を迎える「子どもに見せたい舞台」公演が人気であるが、文化庁や一般財団法人地域創造から補助金の採択額によっては、公演回数を減らす必要があり、入場者数の変動につながっている。</p>					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
		○ 幅広い文化芸術活動の一層の充実化を図り、国際アート・カルチャー都市を構築するためには、文化を支え、育むまちづくりを担う次世代の人材育成は欠かせない取り組みであるため。					

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	当施策の事務事業は、良質な文化的なプログラムを提供する事業を中心に構成されている。このような事業は、一般的に継続した実施が求められるものがあるが、区以外にも類似事業を展開していたり、役目を終えた事業なども含まれていることから、選択と集中の判断が不可欠である。
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	多様な芸術・文化の創造環境のための環境整備事業(庁舎跡地活用事業、芸術文化劇場整備事業等)や長期的視点での人材育成(創造支援活動や次世代育成事業等)に高い施策貢献度を与えた。一方で、文化プログラムを提供する事業のうち、区以外にも類似事業を展開していたり、こけら落とし事業など、比較的短期的な目標で役目を終えた事業については施策貢献度を低いものと判断した。
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	オリンピック・パラリンピック機運醸成のため、キーマンとなる特命大使をはじめとするより多くの区民へ文化芸術のすそ野を広げるため、各事業への参加できる機会を増やすとともに、芸術文化劇場の整備、Hareza池袋周辺の文化拠点の活用を進める。
18 新規・拡充事業の効果や必要性	オリンピック・パラリンピック開催と、芸術文化劇場、としま区民センター、Hareza池袋の活用、東アジア文化都市レガシー事業実施を見据えて計画を策定していく必要がある。施策実現のためにはハード面、ソフト面ともに、より一層充実した事業展開が求められる。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0101-03	国際アート・カルチャー都市推進事業		事業費合計(千円)	42,051	45,850	58,346	30,718	
			うち一般財源分(千円)	42,051	45,850	46,404	30,718	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★★	★★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	S:拡充	S:拡充		
0502-01	芸術文化劇場管理運営		事業費合計(千円)	52,176	89,966	9,040,720	8,760,028	
			うち一般財源分(千円)	52,176	89,966	647,876	13,010	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持		
0502-02	芸術文化劇場開館記念事業		事業費合計(千円)				185,954	
			うち一般財源分(千円)				185,954	
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度				★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				D:終了		
0502-03	としまチケットセンター運営		事業費合計(千円)				40,000	
			うち一般財源分(千円)				40,000	
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度				★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				A:現状維持		
0502-04	舞台芸術交流センター管理運営		事業費合計(千円)	193,089	190,344	199,785	209,959	
			うち一般財源分(千円)	189,999	187,406	197,522	207,342	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し		
0502-05	池袋西口公園野外劇場管理運営		事業費合計(千円)				203,290	
			うち一般財源分(千円)				117,402	
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度				★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				A:現状維持		
0502-06	文化芸術創造支援事業		事業費合計(千円)	5,202	5,466	5,446	10,611	
			うち一般財源分(千円)	7,752	5,466	5,443	10,608	
			現状評価	A:良好	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し		
0502-07	ぞうしがやこどもステーション運営事業		事業費合計(千円)	5,920	7,882	7,750	7,671	
			うち一般財源分(千円)	5,689	7,535	4,019	1,751	
			現状評価	B:普通	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続		
0502-08	池袋モンパルナス回遊美術館事業		事業費合計(千円)	6,000	7,850	8,700	8,700	
			うち一般財源分(千円)	6,850	7,850	8,700	8,700	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持		

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

0502-09	子どものための文化体験事業		事業費合計(千円)	14,474	14,474	14,474	12,916	
			うち一般財源分(千円)	9,974	9,974	10,674	8,816	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★	★★	
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	B:改善見直し	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し
0502-10	次世代育成事業助成(としま未来文化財団事業助成)		事業費合計(千円)	5,502	5,944	5,906	9,063	
			うち一般財源分(千円)	5,502	5,944	5,906	9,063	
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★★	★★★	★★★	
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持
0502-11	文化芸術振興事業助成(としま未来文化財団事業助成)		事業費合計(千円)	84,046	70,962	83,492	84,004	
			うち一般財源分(千円)	87,046	70,962	83,492	84,004	
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★★	★★	★★	
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持
0502-12	映像文化普及・映像教育事業		事業費合計(千円)	8,289	6,498	6,397	5,622	
			うち一般財源分(千円)	8,289	6,498	6,397	5,622	
			現状評価	A:良好	C:不十分			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	B:改善見直し	C:縮小	D:終了
0502-14	としま区民センター整備・管理運営		事業費合計(千円)				6,161,517	
			うち一般財源分(千円)				14,546	
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度				★★	
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			A:現状維持	
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0502-13	としま未来文化財団運営助成		事業費合計(千円)	119,884	137,391	127,823	179,004	
			うち一般財源分(千円)	119,884	137,391	127,823	179,004	
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度			★★	★★	
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-2		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	地域文化・伝統文化の継承と発展		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化デザイン課	庶務課	
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。						
9 施策の現状と課題	<p>○ 江戸時代の豊島区地域は、江戸の近郊農村として発展し、明治時代以降、鉄道の敷設や道路整備とともに急激に都市化が進み、商工業地域と住宅地域とが混在する地域に大きく変貌を遂げた。こうした歴史的経緯を持つ豊島区には、自由学園明日館、雑司ヶ谷鬼子母神堂、雑司が谷旧宣教師館、金剛院山門、長崎獅子舞、富士元囃子、鈴木信太郎記念館等、貴重な有形無形の文化遺産がある。また、「長崎アトリエ村」や、大都映画撮影所跡、江戸川乱歩旧宅、「トキワ荘」跡など、それぞれの時代を創ってきた多様な文化的事跡や旧跡が存在している。</p> <p>○ 豊島区は居住者の転出入等に伴う人の流動性が高く、ファミリー世帯に比較して、単身世帯の割合が多いことなどから、地域文化の継承が難しく、地域の歴史や伝統芸能について、十分に知られていない状況がある。</p> <p>○ 地域固有の文化資源を保存・継承するとともに、発信を行う拠点の整備が必要となっており、前述の通り郷土資料館による歴史・文化の普及、発信事業や旧鈴木信太郎邸の開館に向けて動いているところである。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	東アジア文化都市2019豊島の成功を受け、新しい文化シンボルを制定する検討が進むなど、豊島区の文化芸術活動を次世代に継承する機運が高まっている。また、開催が延長となった2020オリンピック・パラリンピック開催に向けての文化プログラムを推進する必要がある。						
11 今年度の施策の取組方針	<p>○ 舞台芸術、美術等の文化発信の拠点から区民が文化に親しめるよう鑑賞と交流の機会を提供する。</p> <p>○ 地域で展開されている主体的な文化・芸術活動を創造する活動を支援する。</p> <p>○ 郷土資料館における企画展の実施。</p> <p>○ 鈴木信太郎記念館を周知を図るための各種イベントの実施。</p>						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	221,864	406,932	245,519	238,871	0	
	うち一般財源分(千円)	206,443	393,723	233,391	227,688	0	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】	目標値	31.5	31.5	31.5	31.5	
		実績値	26.5	33.3	35.2	32.7	
		達成率	84.1%	105.7%	111.7%	103.8%	—
		達成状況	B:相当程度達成	A:達成	A:達成	A:達成	
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	地域文化・伝統文化の継承・発展の趣旨が区民に浸透しているか、実践されているかを示す指標であるため。			
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	歴史文化施設への入館者数【人】	目標値	12,000	18,000	18,000	18,000	
		実績値	16,215	33,219	51,934	41,525	
		達成率	135.1%	184.6%	288.5%	230.7%	—
達成状況		S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	区の歴史文化施設が区民に親しまれているかを示す指標であるため。				

14 施策達成状況	令和元年度達成状況	167.3%	【達成状況分析】
	S:目標超過達成	3月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休館した影響などから、前年度の入館者数を下回ったものの、入館者数は高水準で推移している。また、これらの各施設の取組や、文化財関連事業への取組を行ったものの、区民意識調査における肯定的な回答をする区民の割合は、前年度を下回ることになった。今後はより知名度・認知度を向上させる取り組みが必要と考えらえる。	
		【指標重要度の割合の設定理由】	
「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について、肯定的な回答をする区民の割合は、豊島区基本計画策定のための区民意識調査で得たものであり、成果指標である。一方で、歴史文化施設への入館者数は、この成果指標に対する活動指標と考えられることから、同一の割合での設定とした。			

15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	<p>○ 各種講座や遺跡見学会のほか、学校での出前講座を実施するなど、文化財の保存・活用に資する多様な取り組みを積極的に行っており、文化財の指定・登録数も増加している。しかしながら、長期的成果指標である区民意識調査結果の向上につながらないのが現状である。</p> <p>○ 郷土資料館及び鈴木信太郎記念館は、平成29年のリニューアルオープンや、平成30年の開館により、大きく入場者数を伸ばしたが、その後は落ち着いている。今後も企画展や場所を活用したイベント等を開催し、さらなる知名度の向上が望まれる。</p> <p>○ 区にゆかりのある演者による質の高い伝統芸能公演を行う伝統芸能@野外公園は、東アジア文化都市2019豊島の中心的事業として、その成功に貢献している。</p>					
-------------------------	---	--	--	--	--	--

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	<p>本事業は地方公共団体における文化資源の保護に資する事業群であり、一概に貢献度を測ることは困難であるものの、13の指標設定理由にもあるように、区民に親しまれる歴史文化施設にしていきたいことが重要な要素と考える。そのため、収蔵作品等3分野企画展((仮称)芸術文化資料館開設準備事業)及び鈴木信太郎記念館運営は区立施設の利用者数に大きな影響を与えたことから、★★★とした。一般事業の美術作品等展示・管理は定例的な業務となっていること、伝統芸能@南池袋公園は単発イベントの事業であり、長期的な視点での施策への貢献が難しいことから★とし、それ以外を★★とした。</p>
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	<p>○区民の文化財に対する関心を高めていくため、文化財に関する普及・啓発事業の一層の充実を図る。 ○文化財保護法の改正により、各自治体に文化財保護のための「地域計画」策定が義務付けられたことを受け、本区においても計画策定に向けた検討を進めていく。 ○郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館も企画展示を実施し、新たな区民需要を掘り起こし、来館者の増加につなげていく。</p>
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	<p>○平成29年度に発見された「東池袋貝塚」について、出土物に関する整理分析、発掘調査報告書作成を行っているが、今後はこの成果について、普及活用の観点から展示等を行い、区民へ還元していく取り組みが必要である。 ○文化財保護のための「地域計画」策定にあたっては、今後専門的かつ膨大な事務量の発生が見込まれる。一部を業務委託するなどの対応が必要である(国庫補助対象)。 ○28年度の旧宣教師館で展示リニューアル効果による来館者数の増加があったように、郷土資料館の常設展のリニューアルと企画展の実施はリニューアル前のほぼ倍の来館者が訪れた。間違いなく新たな展示は来館者への期待感を持たせられると考える。そのため、郷土資料館・旧宣教師館・鈴木信太郎記念館で企画展示をしていくことは、多くの方に来館していただくうえで効果があると考え、予算拡充を目指していく。</p>

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1301-05	文化財資源の保護と活用	事業費合計(千円)	71,218	87,082	71,986	71,239	
		うち一般財源分(千円)	63,585	78,976	62,503	62,144	
		現状評価	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★	★★	★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	S:拡充	A:現状維持	A:改善・継続
0502-15	(仮称)芸術文化資料館開設準備事業	事業費合計(千円)	27,362	29,148	33,631	31,353	
		うち一般財源分(千円)	19,904	24,907	31,596	30,347	
		現状評価	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し
0502-16	鈴木信太郎記念館の保存・活用	事業費合計(千円)	50,588	188,864	12,321	11,924	
		うち一般財源分(千円)	50,588	188,864	12,321	11,460	
		現状評価	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善見直し	A:現状維持		A:現状維持
0502-17	郷土資料館管理運営	事業費合計(千円)	18,605	49,335	48,146	50,261	
		うち一般財源分(千円)	18,275	48,695	47,556	49,663	
		現状評価	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持
0502-18	雑司が谷旧宣教師館管理運営	事業費合計(千円)	10,644	8,769	9,571	9,630	
		うち一般財源分(千円)	10,644	8,749	9,551	9,610	
		現状評価	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:改善・継続
0502-19	熊谷守一美術館管理運営	事業費合計(千円)	23,342	23,405	24,257	24,849	
		うち一般財源分(千円)	23,342	23,405	24,257	24,849	
		現状評価	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★	★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善見直し	A:現状維持	B:改善・見直し	A:改善・継続
0502-20	伝統芸能@野外公園事業	事業費合計(千円)			22,550	22,550	
		うち一般財源分(千円)			22,550	22,550	
		現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			D:終了	D:終了
20 施策を構成する一般事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0501-29	伝統工芸振興事業	事業費合計(千円)	9,806	10,350	12,164	11,591	
		うち一般財源分(千円)	9,806	10,148	12,164	11,591	
		現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0502-21	美術作品等展示・管理	事業費合計(千円)	10,299	9,979	10,893	5,474	
		うち一般財源分(千円)	10,299	9,979	10,893	5,474	
		現状評価	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	B:改善見直し	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-3		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	交流の推進によるにぎわいと発展の共有		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課	企画課	
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	鉄道事業者や様々な交通ネットワーク、周辺自治体と様々な事業で連携し、まちのにぎわいをつくっていきます。						
	地方都市との交流を推進し、文化・観光を始めとした取組みを実践します。						
	国際アート・カルチャー都市として、在住・訪日外国人にも魅力的なにぎわいを創出していきます。						
9 施策の現状と課題	<p>豊島区は、23区の北西部に位置し、埼玉県や周辺自治体との玄関口となっている。乗降客数第2位の池袋を中心に、各方面を結ぶ5社13路線の鉄道が乗り入れ、池袋駅における1日乗降客数は約267万人にのぼる(平成29年度実績)。</p> <p>東武東上線、西武線沿線をはじめ国内外の交流都市は86自治体へのぼり、沿線自治体PRや物産交流など、多方面の交流を行っている。2021年に延期となった東京オリンピック・パラリンピックの開催や外国籍の区民が増えてきていることから、外国語対応や文化体験など、新たなニーズが生まれている。外国籍区民のニーズを把握し、滞在しやすい環境づくりを早急に行う必要がある。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>外国籍区民は、豊島区の人口の1割を占めている。</p> <p>また、東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、東京都を訪れる外国人旅行者も増加を続けてきた。こうした状況を踏まえ、政府は2020年における訪日外国人旅行者数の目標を4000万人としていたが、新型コロナウイルス感染症が地球規模で蔓延したことに伴い、オリ・パラ大会の延期のみならず、4月期の訪日外国人旅行者が対前年同月比99.9%減という未曾有の落ち込みを見せた。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	高いブランド力、特色ある文化的背景を持つ地域において、地域資源を活かしたプロジェクトを区民との協働により推進する。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	9,182	8,062	12,246	10,064	0	
	うち一般財源分(千円)	6,212	5,173	5,712	5,712	0	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「観光情報や物産など、地方の情報に接することができる」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】	目標値	25	26.25	27.5	28.75	30
		実績値	20.4	22.5	22.5	22.4	
		達成率	81.6%	85.7%	81.8%	77.9%	—
	達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由 区民が他自治体との交流を感じることができていることを示す指標であるため					
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	77.9%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	平成26年に消滅可能性都市と発表された豊島区は、対策の1つとして「様々な地域との共生」を打ち出している。現在、86自治体と様々な交流を行っており、本区イベントでの物産展出展など、交流都市の観光案内や名産品販売等を通して、地方都市の魅力を発信している。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
		都市の賑わいと、地方の豊かな自然環境及び名産品は、違った魅力を持つものであり、地方の魅力にさらに接したい本区住民は多いものと考えられる。地方の魅力を効果的に発信することにより、人的な相互交流が活性化され、地域経済の活性化に貢献するものと考えられるため。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	<p>本区は86自治体と、観光・教育・産業・防災といった分野での連携・協力を行っており、相互発展に寄与する仕組みを整えている。本区の強み及び交流都市の強みを生かして、相互に発展する関係を今後も継続していく。</p> <p>特に池袋駅は各方面を結ぶ5社13路線の鉄道が交わる一大ターミナル駅となっており、その特徴を活かして各沿線の自治体が参加する「西武線沿線サミット」「東武東上線沿線サミット」事業を展開している。沿線各地の魅力を相互に発信し、豊島区を含む沿線自治体の発展に寄与するよう今後も連携していく。</p>						
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	<p>【貢献度の設定根拠】上記15に記載のとおり、本区は57の多種多様な自治体と様々な分野で連携・協力をしており、各自治体の魅力を相互補完し、ともに発展していくために今後も交流を続けていく方針である。そのような「ひと」や「もの」の交流を深め、自治体間の交流に直接的に貢献する事業を★★★、様々な地域と共生し、ともに豊かな生活を実現し、地域活性化に貢献する事業を★★とする。</p>						

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	としまブランドとして交流都市に拡げてきたソメイヨシノに関しては今後も活動を継続する。また、IKEBUSやトキワ荘マンガミュージアムといった、昨今メディアでも注目を集めているコンテンツを活かして豊島区の魅力を多方面に発信する方策について検討を進める。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	2021年に延期が決まった東京オリンピック・パラリンピックを見据え、インバウンド対応の強化やおもてなし環境を整備していく。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-14	都市交流推進事業		事業費合計(千円)	2,942	1,784	1,688	1,688	
			うち一般財源分(千円)	2,942	1,784	1,688	1,688	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
0503-13	インバウンド冊子作成 (インバウンド推進事業)		事業費合計(千円)	5,940	5,778	9,504	7,322	
			うち一般財源分(千円)	2,970	2,889	2,970	2,970	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	—(再掲分)	—(再掲分)	—(再掲分)	—(再掲分)	
	事業特性2	国・都補助+区上乗せ	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持		
0101-06	地方との共生推進事業		事業費合計(千円)	300	500	1,054	1,054	
			うち一般財源分(千円)	300	500	1,054	1,054	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-4		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	アート・カルチャーによる魅力の発信【重点】		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	企画課	文化デザイン課	
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	文化を媒体として、世界に豊島区の魅力をアピールし、バーチャルだけでなくリアルに世界とつながり、新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像を発信していきます。						
	マンガの創成期から最先端のマンガ・アニメまで世代を超えたマンガ文化が融合するまち、池袋演劇祭、フェスティバル/トーキョー※など舞台芸術のまちの魅力を世界に向けて発信します。						
9 施策の現状と課題	○ 東アジア文化都市2019豊島の成功、芸術文化劇場・西公園野外劇場の設置、イケバスの運行等で大きく文化発信しているため、「借りて住みたい街」ランキング1位が続くなど、「池袋」の評価が高まっている。この機運を逃すことなく、期待に応えられるような街づくりをすることが求められている。						
	○ 豊島区では、地域の団体や企業、NPO等による特色のある文化芸術活動が様々な形で展開されている。それぞれの活動が個別の地域や領域の中にとどまりがちのため、相互の「文化資源の連携」を図り、豊島区全体(オールとしま)としてアピールすることが重要である。 ○ 豊島区の顔である池袋駅の周辺では、歩行者がゆったり歩いたり、イベントを開催するスペースが不足している。 ○ オリンピック・パラリンピックを開催する国際都市として、無料Wi-Fi、多言語対応の案内板などの基盤整備を急ぐ必要がある。さらに空間整備を進め、「人と環境にやさしく、文化を軸とした活力あふれる都市：国際アート・カルチャー都市」へ進展することが求められている。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	東アジア文化都市2019豊島の成功を受け、新しい文化シンボルを制定する検討が進むなど、豊島区の文化芸術活動を次世代に継承する機運が高まっている。また、開催が延長となった2020オリンピック・パラリンピック開催に向けての文化プログラムを推進する必要がある。これらの活動に芸術文化劇場をはじめとする新規施設を有効に活用していくことが求められる。						
11 今年度の施策の取組方針	○ 舞台芸術、美術等の文化発信の視点から区民が文化に親しめるよう鑑賞と交流の機会を提供する。 ○ 地域で展開されている主体的な文化・芸術活動を創造する活動を支援する。 ○ 東アジア文化都市2019豊島開催によるレガシーを継承していく。						
12 投入コストの推移	費目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業費合計(千円)		22,595	85,633	263,704	389,252	0
	うち一般財源分(千円)		22,595	85,633	93,053	111,539	0
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	フェスティバル/トーキョーの入場者数(都市型総合芸術フェスティバル「東京芸術祭」の入場者数)【人】	目標値	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
		実績値	83,014	107,770	84,589	39,147	
		達成率	110.7%	143.7%	112.8%	52.2%	—
		達成状況	A: 達成	S: 目標超過達成	A: 達成	C: 未達成	
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 入場者数は、豊島区のアート・カルチャー都市としての魅力がどれくらい発信され、認知されているかを示す指標				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	文化プログラムの認定事業数	目標値	20	60	60	60	60
		実績値	0	0	0	0	
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
		達成状況	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成	
	指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由 東京五輪文化プログラムを通して、どの程度文化芸術の創造を国内外に発信できたかを示す指標であるため。				
指標(3)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
庁舎まるごとミュージアム回廊美術館のべ展示点数【点】	目標値	500	500	500	500		
	実績値	727	1,680	1,645	2,514		
	達成率	145.4%	336.0%	329.0%	502.8%	—	
	達成状況	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成		
指標重要度の割合(%)	10	指標設定理由 庁舎まるごとミュージアム構想に基づき、区民目線で新たな文化的事業の発信をしていくという意味で、重要な指					
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	76.4%	【達成状況分析】				
	B: 相当程度達成	○「フェスティバル/トーキョー」は都市型総合芸術フェスティバル「東京芸術祭」の一環として位置づけられ、東京全体の文化事業としても貢献することとなった。比較的小規模ながら街中でのパフォーマンスが多数行われたことで、豊島区の文化事業の発信に寄与したが、数字の上では減少した。 ○文化プログラムについては、その認定基準が非常に厳格であり、豊島区の文化事業を申請するには困難である。 ○庁舎まるごとミュージアム構想に基づき、区の回廊を使った回廊美術館により、区民目線の新たな文化的事業発信ツールが確立しつつあることが数字にも表れている。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
フェスティバル/トーキョーは、東京芸術祭の一部となり、豊島区の国際アート・カルチャー都市構想実現の大きな柱であるため、重要度を上げた。庁舎まるごとミュージアム回廊美術館のべ展示点数は「新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像」を実現するために大きく貢献しているためこのように按分した。文化プログラム認定については、現在検討を進めている。							

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	フェスティバル/トーキョーは、池袋を中心とした舞台芸術の創造・発信による地域の活性化とイメージアップを図り、東京芸術祭の基幹事業ともなり、国際アート・カルチャー都市構想実現に向けての大きな牽引力になっている。また、東アジア文化都市事業は区が目指す国際アート・カルチャー都市構想実現戦略の国際戦略に位置付けられ、都市の魅力発信効果は相当なものであり、区の文化政策の集大成及び国際都市推進の起爆剤となる。
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	東アジア文化都市2019豊島の開催は、区の文化政策の集大成及び国際都市推進の起爆剤として当施策への貢献度は極めて大きいと考える。フェスティバル/トーキョーは貢献度としては高いものの、当該年度においては他のプロジェクト系事業と比べて、相対的に貢献度が低いと判断した。
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	オリンピック・パラリンピック開催と、東アジア文化都市2019豊島のレガシー継承のため、各施策の統合的な展開を図るなど、来年度もオールとしまで、引き続き実施していく。まるごとミュージアムを使って、文化をはじめとする区の各施策をPRし、盛り上げていくことも重要である。
18 新規・拡充事業の効果や必要性	オリンピック・パラリンピック開催と、芸術文化劇場・新区民センター、Hareza池袋の活用、東アジア文化都市レガシー事業実施を見据えて計画を策定していく必要がある。施策実現のためにはハード面、ソフト面ともに、より一層充実した事業展開が求められる。

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0101-04	東アジア文化都市推進事業	事業費合計(千円)	9,700	69,199	230,150	345,713	
		うち一般財源分(千円)	9,700	69,199	59,499	68,000	
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★	★★★	★★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	一般事業(評価対象外)	D:終了
0502-22	「フェスティバル/トーキョー」開催事業	事業費合計(千円)	10,000	10,000	23,600	23,600	
		うち一般財源分(千円)	10,000	10,000	23,600	23,600	
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し
0502-23	TACT Festival in Tokyo 2019開催支援	事業費合計(千円)				12,729	
		うち一般財源分(千円)				12,729	
		現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				D:終了
0502-24	庁舎まるごとミュージアム運営事業	事業費合計(千円)	2,895	6,434	9,954	7,210	
		うち一般財源分(千円)	2,895	6,434	9,954	7,210	
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	一般事業(評価対象外)	A:改善・継続